

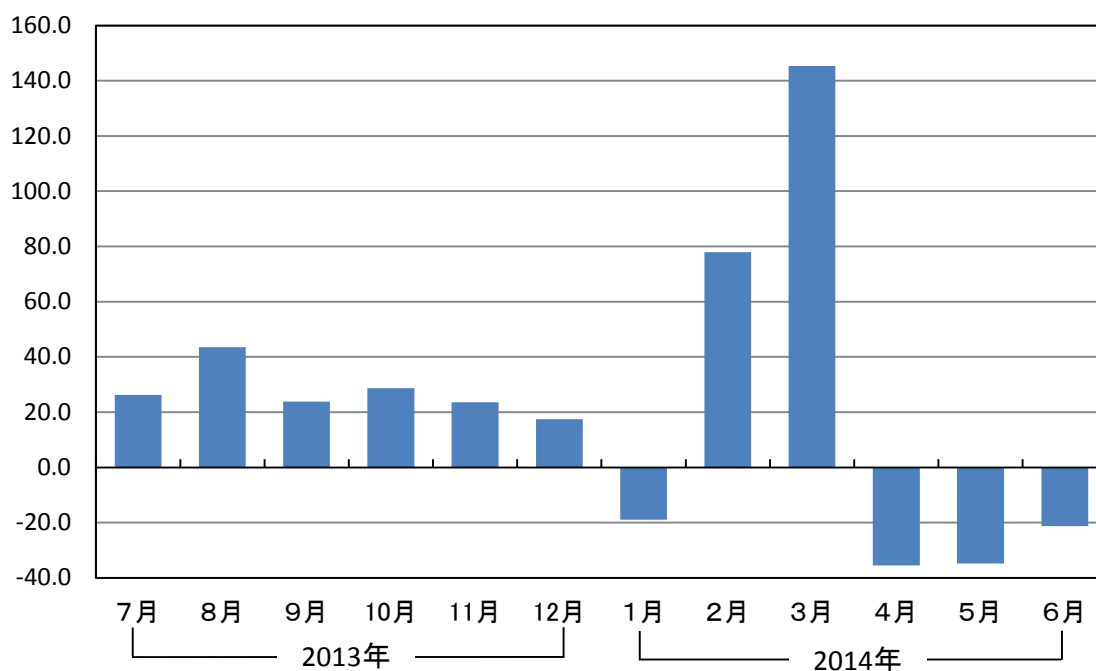
調査世帯の皆様には日々お忙しい中、長期間に渡り家計消費状況調査にご回答いただき、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

この調査の結果からは様々なことが分かりますが、その中から幾つかをご紹介します。

その1 消費税率引上げ前後のエアコンへの支出の動き

6月分までの調査結果から、最近のエアコンへの支出の動きを見てみましょう。エアコンへの支出は、2013年は猛暑だったことなどもあり、1月から12月まで全ての月で支出が増加しました。また、2014年4月の消費税率引上げ前の駆け込みの影響などにより、2014年3月は物価変動の影響を除いた実質で145.4%の増加となりました。

図1 エアコンへの1世帯当たり1か月間の支出金額の対前年実質増減率の推移（二人以上の世帯）



Q&A

Q 最初に調査票を2枚渡されたので、調査期間が2か月だけかと思いましたが。回答を1年も続けるのは、大変です。

A 正確でかつ安定した結果を得るために、調査世帯の皆様には長期間の記入をお願いしています。お忙しい中、大変恐縮ですがご回答をお願いいたします。

統計局からのお知らせ

統計局では、9月から11月にかけて約5万6千世帯を対象に、家計の構造を総合的に把握することを目的として「平成26年全国消費実態調査」を実施します。

なお、家計消費状況調査の調査対象となっている世帯の皆様は、「平成26年全国消費実態調査」の調査対象にはなりません。

家計消費状況調査については、総務省統計局のホームページでも紹介しています。

URL <http://www.stat.go.jp/data/joukyou/index.htm>

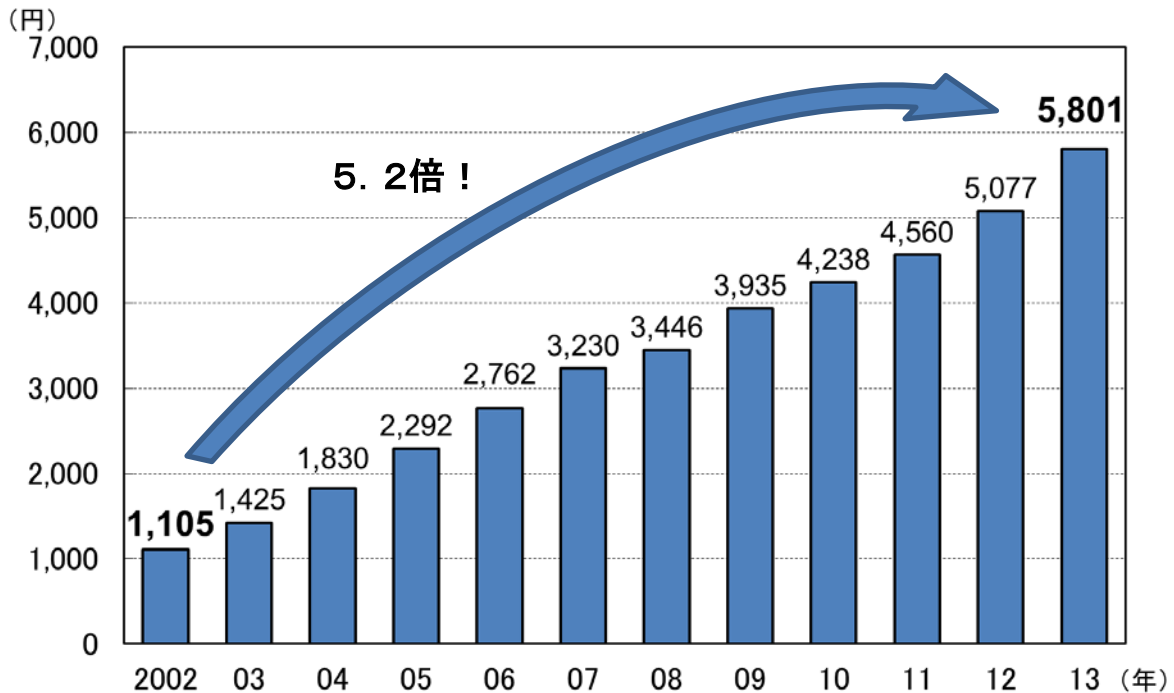
家計消費状況調査

検索

その2 急増するネットショッピングの動向

皆様にご記入いただいた調査票Bの4ページにある「インターネットを利用して購入した商品・サービスの支出総額」からは、いわゆる「ネットショッピング」の支出額の動向が分かります。その結果を見ますと、家計消費状況調査を開始した2002年から直近の2013年までの11年間で、5倍以上になっています。

図2 1世帯当たり1か月間のインターネットを利用して購入した商品・サービスの支出総額
(二人以上の世帯 2002年～2013年)



※ 上記は、インターネットを利用しない世帯も含めた、二人以上の世帯全体の平均支出総額です。

調査票に記入する際に、次の点についてもう一度確認をお願いいたします。

○ 調査票Bの4ページにある「今月の支出総額」には、同調査票の2・3ページにある「特定の商品・サービスの購入金額」の品目（64品目）以外の、次のような支出も含めた支出全体の金額を記入してください。

- ①電気料金やガス料金などの毎月支払うような定期的な支出金額
- ②食費などの日々の支出
- ③その他の支出（調査月に特に購入又は支払ったもの）

○ 調査票Bの2・3ページにある64品目の中で、携帯電話の使用料金などは翌月になって請求書が届きますが、請求書の到着を待って使用料金を記入するのではなく、調査月に支払った使用料金（通常は前月分）の使用料金を記入してください。

<記入例>（8月に記入する場合） 8月に届く請求書は、通常7月分の使用料についての請求となります。その場合、7月分の使用料金を支払うので、その金額を調査票に記入します。

		（ 8 月分）	
商品・サービス名		購入金額（円）	支払い方法、購入日など
01	携帯電話（携帯電話・PHS）使用料	11,362	7月分（2人分）

「政府統計の総合窓口（e-Stat）」でも、統計データ等の各種統計情報がご覧いただけます。

URL <http://www.e-stat.go.jp/>

e-stat

検索